

伸ばそう！子どもの学力

三島市教育委員会 令和3年12月発行

全国学力・学習状況調査は、子どもたちの学力や学習・生活状況を把握し、今後の教育活動に役立てていくために、実施されています。令和3年度の三島市の調査結果を分析し、三島の子どもたちのよさや今後伸ばしていきたいところをリーフレットにまとめました。

子どもたちの学力を伸ばしていくためには、学校と家庭が連携して子どもたちの学びを支えることが大切です。学校では、調査結果を活用し授業改善に取り組んでいきますので、各家庭でも、このリーフレットを参考にしていきたいと思います。

調査の概要

【調査日】令和3年5月27日(木)

【調査対象】小学校6年生, 中学校3年生

【調査内容】○教科に関する調査(国語, 算数・数学)

○生活習慣や学習習慣に関する質問紙調査

※調査問題につきましては、国立教育政策研究所ホームページ(URL: <http://www.nier.go.jp/>)から確認することができます。

三島の子どもたちのこんなところがすてき！

- 自分には、よいところがあると思っている。
- 人の役に立つ人間になりたいと思っている。
- 物事をやり遂げる喜びを知っている。
- 朝食を毎日食べている。
- 友達と協力することが楽しいと思っている。
- ICT機器を頻繁に使用して調べ学習や意見交換ができる。

三島の子どもたちの伸ばしたいところ

- 自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉にすること
- 自分の考えを発表する機会で、うまく伝わるように、工夫して発表すること
- 就寝時間を決めたり、決まった時間に家庭学習をしたりするなど、規則正しい生活を送ること

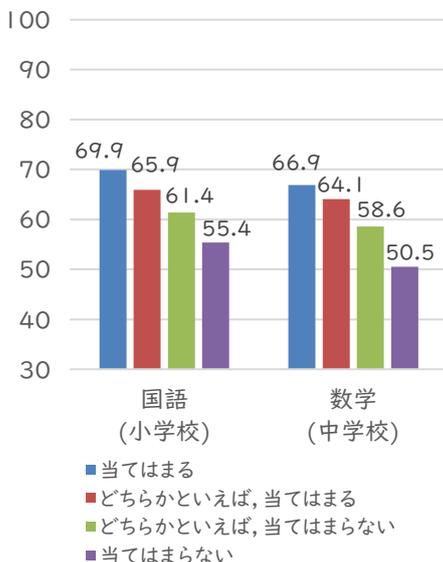
生活・学習習慣と学力の関係は？

次のような子どもたちは、教科の平均正答率が高いことが分かりました。



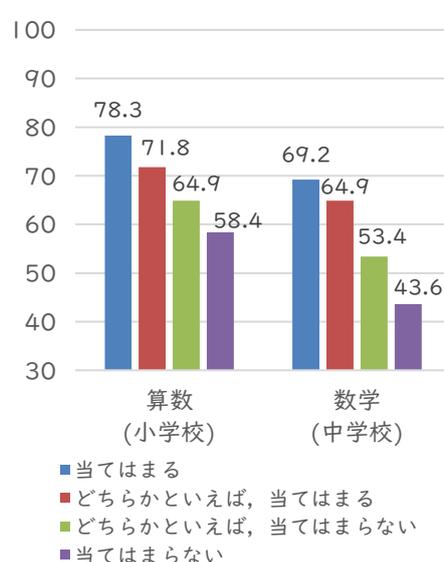
自分の思いをきちんと言葉で表している子

「自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができますか。」の回答と正答率(%)



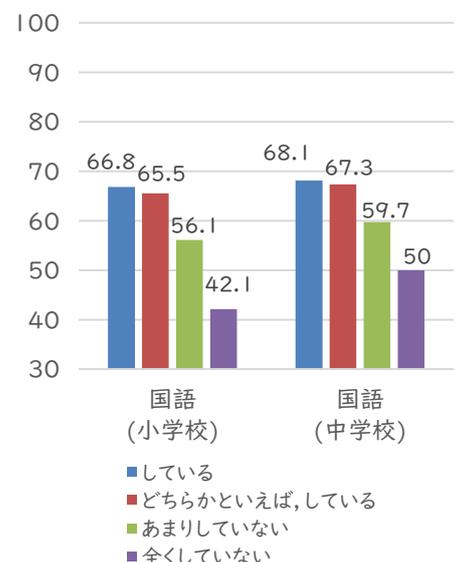
自ら課題を見付け調べ表現する子

「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。」の回答と正答率(%)



規則正しい生活を送っている子

「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。」の回答と正答率(%)



家庭でできることを見付けて始めてみましょう！

こんなところできています

【小学校】◎複数の意味をもつ言葉を正しく使い分けること(「～より」…比較・起点・原因・経由する場所)

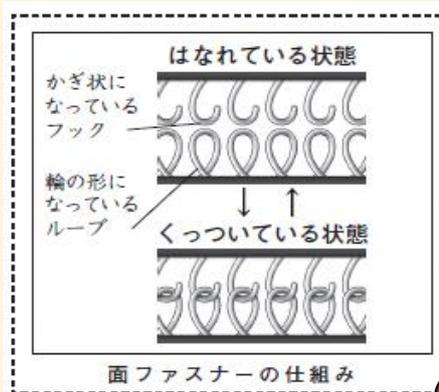
【中学校】◎自分が知らない言葉でも前後の文脈から意味を読み取ること

三島の子どもたちの伸ばしたいところ

文章と図を照らし合わせて、情報を正しく読み取る力

【小学校】国語2
「説明的な文章を読み、分かったことをまとめる」問題より一部抜粋

(略)メストラルは、犬の毛に野生のゴボウの実がたくさんついていることに気がつきました。(略)ゴボウの実は先の曲がったかぎ状のトゲでおおわれていることがわかりました。そのトゲが犬の毛にからみついていたので、このことをヒントにメストラルは研究を重ね、数年後、特殊な素材を使い、面ファスナーを作り出しました。



三 相川さんは、【資料】の一部を読み、面ファスナーのくつつく仕組みについて考えています。メストラルは、何をヒントに、どのような仕組みの面ファスナーを作り出しましたか。次の条件に合わせて書きましょう。

〈条件〉

○ヒントになったことと、面ファスナーのくつつく仕組みが分かるように書くこと。

○【資料】の中の文章と、「面ファスナーの仕組み」から言葉や文を取り上げて書くこと。

○五十字以上、八十字以内にまとめて書くこと。

ポイント

まず、文章の中の「」をヒントに「という言葉に着目して、ヒントとなったことを見つけましょう。」

次に、文章のどの言葉が図のどの部分に結びつくのかを考えましょう。

それから、照らし合わせた言葉を組み合わせ、文章を組み立てましょう。



漢字を文の中で適切に使う力

チャレンジしよう

線部を漢字に直しましょう。

- ① げんいんをかんがえる。
- ② 一輪車をつみかさねる。
- ③ ボールがころがる。



① 原因の原の「小」の部分「水」にしないように気をつけようね。

② 積み重ねるといふ字は、「面積の積」で使われているね。音読みだけでなく、訓読みも覚えたいね。

③ 転がるは、「軽」「輪」と部首が同じだから気をつけようね。

ポイント

普段から習った漢字や知っている漢字を使い、読み方や字形に注意してみましょう。意味や使われ方も調べてみるとよいですね。

【正答例】

メストラルは、ゴボウの実が犬の毛にからみついていて、かぎ状のフックが輪の形をしたループに引っかかることでくつつく仕組みの面ファスナーを作り出した。(八十字)

学校では

- 文章と図・表などを結びつけて読む学習を増やします。
- 複数の条件に合わせて文章を書く学習を取り入れていきます。

家庭では

- 新聞・パンフレット・ポスターなどに図や表が付いているときには、図や表にも注目して読みましょう。
- 分からない言葉や気になる言葉があったら、すぐ辞書やタブレットなどを使って調べましょう。

算数・数学

紙面の都合上、調査問題を省略して示しています。

こんなところができています

- 【小学校】○棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取ること ○底辺と高さの位置関係を理解し、図形の面積を求めること
- 【中学校】○資料から代表値を読み取ること ○形式に則って証明を書くこと

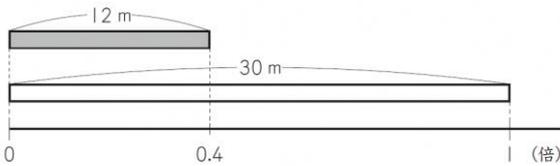
三島の子どもたちの伸ばしたいところ 筋道立てて考えて表現する力

令和3年度調査問題【小学校】4(3)より

小数を用いた倍についての説明を解釈し、他の数値の場合に適用して、基準量を1としたときに比較量が示された小数に当たる理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかを見る問題です。

12mのテープと30mのテープがあります。たくみさんたち、12mは30mの何倍かについて考えています。30mを1としたときに12mが0.4にあたるわけを、0.1にあたる長さがわかるようにして、言葉や数を使って書きましょう。

※ 必要ならば、下の図を使って考えてもかまいません。



12 ÷ 30 = 0.4で、0.4倍です。

30mを1としたとき、12mが本当に0.4にあたるのかな。



0.4は1を10等分した一つ分である0.1の四つ分であることに着目し、30mを1としたとき、0.1にあたる長さである3mを求めた上で12mが3mの幾つ分にあたるかを考えることが必要だね。



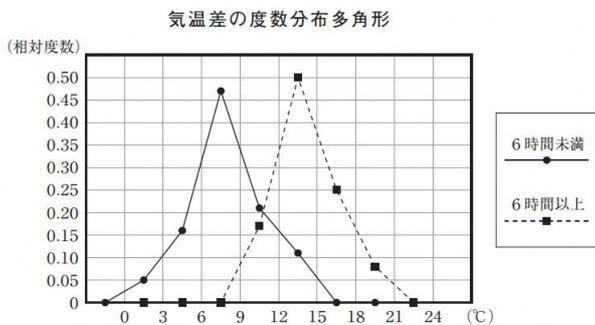
ポイント!

小数を用いた倍について、比較量が基準量より小さい場合も、0.1にあたる長さを用いて説明できるようにすることが大切です。

令和3年度調査問題【中学校】8(3)より

日常生活や社会の事象を考察する場面において、ある事柄が成り立つ理由を数学的な表現を用いて説明することを求めている。

気温差の度数分布多角形から、「日照時間が6時間以上の日は、6時間未満の日より気温差が大きい傾向にある」と主張することができます。そのように主張することができる理由を、気温差の度数分布多角形の2つの度数分布多角形の特徴を比較して説明しなさい。



6時間未満の度数分布多角形よりも6時間以上の度数分布多角形の方が右側にあるね。

日照時間が6時間以上の日は、6時間未満の日より気温差が大きい傾向にあるよ。



「理由」を記述する際には、「AだからBとなる」のように、Aという理由及びBという結論を明確にして記述することを求めることが考えられます。

ポイント!

データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することが大切です。

学校では

根拠をもとに自分の考えをまとめ、筋道立てて相手にわかりやすく伝えられるような機会を増やしていきます。

家庭では

「なんで?」「どうして?」をキーワードに、子どもが自分の思いや行動の根拠を明確にできる言葉がけをお願いします。